

# 徳島発の新技术集結

「徳島ビジネスチャレンジメッセ2013」の開会式典で  
テープカットをする関係者。アステイトくしま



## ビジネスメッセ開幕 アステイト

徳島から新しい製品や技術を発信する「徳島ビジネスチャレンジメッセ2013」が24日、徳島市のアステイトくしまで始まった。県内外の176企業・団体が181ブースを設け、LEDや防災、環境関連、地元農林水産物の加工食品など幅広い分野でPR。訪れた企業関係者の目を引いている。26日まで。

開会式では主催者を代表し、実行委員会の三木康弘会長と徳島ニュービ

ジネス協議会長らが「安倍政権の経済政策で注目される成長戦略では、核となるのが世界をリードする新しい技術や製品、サービス、ビジネスモデルだ。意欲的にこの場を活用して成長、発展につなげてほしい」とあいさつ。三木会長、飯泉嘉門知事ら8人がテープカットした。

14回目となる今年のテ

ーマは「新結合く新しい可能性を求めて」。期間中、県外から食品、機械関連の大手バイヤーを招いて地元出展企業などとの商談会が開かれる。糖尿病予防のための健康づくりや自然エネルギー導入、過疎地域発のビジネスモデル創出、農商工連携などをテーマにしたセミナーもある。

徳島市の県立工業技術

センターでも24、25の両日、サテライト会場として3Dプリンターのデモンストラーションや活用法を探るセミナー、LED応用製品の展示などがある。

(湊健治)